

彦根長浜地域連携プラットフォーム
地域コミュニティ活性化事業
滋賀文教短期大学 × 滋賀大学オーケストラ

国際 親善交流 音楽会

2020.2.22 SAT.

長浜文化芸術会館 大ホール

開場 13:30 開演 14:00

主催 彦根長浜地域連携協議会

共催 学校法人松翠学園 滋賀文教短期大学

後援 長浜市 彦根市

学長挨拶

このたび「国際親善交流音楽会」が、湖北地方をはじめとする多くの皆様のご参加により、盛大に開催されましたことをお祝い申し上げます。

彦根長浜地域に地域連携プラットフォームが形成されたことにより、複数の大学の学生と国内外の音楽家が共演する機会が設けられました。本日は心ゆくまで演奏をお楽しみいただきたいと思います。

最後に、今回の音楽会を開催するにあたり、今日まで企画準備いただいた関係各位に心からお礼申し上げます。

滋賀文教短期大学
学長 松本博文

開催にあたって

今回は、ドイツ東部の街ハレより演奏家お二人と国内音楽家をお招きして、滋賀大学オーケストラ、滋賀文教短期大学有志の共演で本演奏会を実施いたします。

ハレは18世紀の作曲家ヘンデルの生地です。今回は、彼にちなんだ作品を中心に、弦楽器、管楽器、ピアノによる演奏で、ドイツ、オーストリア、チェコ、フランス、フィンランド、スイス、ロシアなどヨーロッパ各地のよく知られた名曲を演奏いたします。

どうぞ最後までお楽しみください。

滋賀文教短期大学
講師 藤山あやか

Program

第一部

G. F. ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685-1759)
ハンドベルによるオラトリオ「メサイア」より 第 42 番「ハレルヤ」

G. F. ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685-1759)
「王宮の花火の音楽」HWV351 より序曲

J. S. バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
管弦楽組曲 第 3 番 ニ長調 BWV1068 より「エア」

G. F. ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685-1759)
オラトリオ「メサイア」HWV より 第 12 番

F. クライスラー Fritz Kreisler (1875-1962)
愛の悲しみ
エルベン (Vn.)・藤山 (Pf.)

C. サン＝サーンス Camille Saint-Saëns (1835-1921)
組曲「動物の謝肉祭」より「白鳥」
ダンディーヴェル (Vc.)・藤山 (Pf.)

M. グリンカ Mikhail Ivanovich Glinka (1804-1857)
クラリネット・チェロとピアノのための三重奏曲 ニ短調「悲愴」
伊藤 (Cl.)・ダンディーヴェル (Vc.)・藤山 (Pf.)

第二部

J. シベリウス Jean Sibelius (1865-1957)
アンダンテ・フェスティーヴォ

A. ドヴォルジャーク Antonín Leopold Dvořák (1841-1904)
スラブ舞曲 op. 46-2

P. I. チャイコフスキー Pyotr Ilyich Tchaikovsky (1840-1893)
チャイコフスキーバレエ組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」
エルベン (Vn.)・ダンディーヴェル (Vc.)・藤山 (Pf.)

編曲：市川克明
ブラームスの主題によるアルプホルン・パラフレーズ

F. レハール Franz Lehár (1870-1948)
ワルツ「金と銀」op. 79

出演者

マティアス・エルベン (ヴァイオリン)
 マルティーン・ダンディーヴェル (チェロ)
 藤山 あやか (ピアノ)
 市川 克明 (ホルン)
 伊藤 千佳 (クラリネット)

滋賀大学オーケストラ

ヴァイオリン 木村 広美 (3年生)
 田川 菜美穂 (2年生)
 藤井 真巳 (2年生)
 小堀 健志 (1年生)
 ヴィオラ 杉林 るか (3年生)
 寺村 紗美 (2年生)
 藤本 奏 (1年生)
 水野 遙 (1年生)
 チェロ 江村 夏実 (3年生)
 関宮 清美 (1年生)
 フルート 中川 夢美 (3年生)
 クラリネット 小林 悠里 (3年生)
 ホルン 下島 優子 (2年生)

滋賀文教短期大学

ハンドベル 秋岡 晃彦 (2年生)
 植田 美衣子 (2年生)
 柳田 志麻 (2年生)
 田部 あゆ美 (2年生)
 松井 愛里 (2年生)
 水谷 萌恵 (2年生)
 フルート 森 亜紗子 (職員)



マティアス・エルベン (ヴァイオリン)

中部ドイツデッサウ出身、マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルクコレギウム・ムジカム管弦楽団音楽監督、室内楽管弦楽団「ムジカ・ユヴェンタ」、中部ドイツサロンオーケストラ、「フリードリヒ・ファッシュ・アンサンブル」楽団長、2003年、2012年、2013年、2015年に訪日、オーストリア、フランス、オランダ、イタリア、チェコ、アルバニア、ロシアなどドイツ内外で演奏活動を精力的に行い、同時に数多くの音楽を通じた日独芸術家交流活動を実施している。



マルティーン・ダンディーヴェル (チェロ)

ベルギーのオーステンデ生まれ、ブルーージュの音楽学校でチェロ、室内楽、打楽器を学ぶ。ブリュッセル音楽院で指揮を専攻するがたわら、チェロの演奏も続け数々の演奏会に出演する。ベルギー国立フランシス・ハルモニイ、ブリュッセル・シンフォニイなどで指揮活動を行う。2018年12月、ライブツィヒでの第9回中部ドイツ放送指揮者コンクールにおいて第1位を受賞。



藤山 あやか (ピアノ)

愛媛大学教育学部芸術文化課程音楽文化コース卒業、同大学院教育学研究科音楽教育専攻 (ピアノ) を修了。これまでに、ピアノを村上泉陽子、森山和、三好洋子、井上祐子、桐富彩子の各氏に師事。「ピアノを含む音楽アンサンブルのレパートリー」を博士課程のテーマとして研究すると同時に、自らも演奏者として数多くの演奏会に出演。2018年3月、ドイツ・ハンブルクで日独芸術家交流演奏会においてソリストを務める。平成30年度若手・女性研究者奨励金を獲得。現在、日本学術振興会科学研究費補助金 (若手研究) より助成を受け、ドイツにおける初等音楽教育の研究を行っている。日本音楽学会、乳幼児教育学会、全国大学音楽教育学会会員、滋賀文教短期大学専任講師。



市川 克明 (ホルン)

武蔵野音楽大学、同大学院修了、マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク (ドイツ) 博士課程で「エッティンゲン・ヴァラーシュタイン宮廷のホルン・アンサンブル・アントニオ・ロゼッティの作品を中心に」をテーマに音楽学博士号を取得。ホルンを山本真、故田中正大、ハインリヒ・ケラーの各氏に師事。音楽を通じた日独芸術家交流プログラムを企画し、2011年、ベルリンで日独芸術家友好賞を受賞。木管5重奏を中心にアンサンブル活動も精力的に行い、数多くの作品を編曲。「音楽のためのドイツ語事典」、「受験生のための速成書」、「ホルンズソッド」、木管五重奏編曲ほか著書多数。日本音楽学会、国際ハンドベル学会、国際ロゼッティ協会会員、日本チェコ協会会員、大阪府枚方市文化芸術アドバイザー、愛媛大学教育学部助教授。



伊藤 千佳 (クラリネット)

13歳よりクラリネットを始める。香川県立坂出高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部音楽科卒業。ドイツ・フライブルク音楽大学に留学、同大学を優秀賞を受け卒業。松山市にて、2005年、2007年に室内楽リサイタルを開催。クラリネットを山城崎之、藤井一男、鈴木良明、村井祐典、ディーター・クレッカーの各氏に師事。D・クレッカー氏監修 CD「Clarinet 20th Century (20世紀のクラリネット作品)」(ARTS MUSIC) 収録に参加。元愛媛大学教育学部非常勤講師。

